

第 6 回「こうとう未来ミーティング」実施結果

開催日：令和 6 年 8 月 23 日(金曜日)
会場：砂町文化センター サブ・レクホール
参加人数：24名(内、オンライン参加 4 名)
実施形態：参加者によるグループワーク(意見交換)



■主なご意見・ご提案等

【グループ 1】

- ・防災にもいろいろあり、水害や台風、地震などに特化したマニュアルが必要ではないか。備蓄品が区の倉庫の 1 階にあることが多く、水害の時に大丈夫か。
- ・高齢化社会において、一人暮らしの高齢者をどうやってサポートしていくのか。その際、DXを活用できるのではないか。
- ・外国人も災害時に守ってくれるのか。
- ・外国人住民について、ゴミ捨てや交通の様々なルールを守ってほしい。そのためにはまずルールを伝える必要がある。そして、伝えるためにはちゃんとコミュニケーションとれていかが重要である。英語や中国語でのコミュニケーションは難しいと思うが、AIを活用しながら外国人の皆様にもルールを伝えて、徹底してもらってはどうか。
- ・南北交通について、亀戸から新木場までの交通には基本的にバスしかない。また、自転車の走り方が危ない。私も 0 歳児の子育てをしているが、不安である。南北交通では将来的には地下鉄 8 号線の延伸もあるが、旧貨物線の路線を活用すること等含めて新しい交通が検討できないか。
- ・今子育てをしているが、産後ケアを含めてサポートいただいて本当にありがたい。日本全体の話として、個性をより尊重する教育方針があると良い。
- ・ふるさと納税について、切子くらいしか江東区の物産品がなく、豊洲市場に関するものや花火大会の参加券など、江東区らしさを PR できないか。
- ・地域コミュニティについて、なかなか町会に加入してもらえない。フリーライダーも多く、解決策は出にくい、必要なことである。

【グループ 2】

- ・子育て支援や教育対策で、中高生向けの支援が江東区にあったら良い。赤ちゃんや高齢者向けの支援はあるが、中高生にも進路や将来を考える段階でのサポートがほしい。
- ・大学生が就職活動等で志望理由などを深めていくために、高齢者にその経験を聞いたり、高校生が心配していることを具体的に相談できたりする機会や場所があったら良い。
- ・江東区は子育て支援がかなり手厚いが、若い人たちはその全てを駆使できてないのが問題である。
- ・子育てについて、親の視点から区にサポートしてもらうことがメインになるが、子どもたちが将来大人になって、江東区を好きになるという視点も必要である。
- ・江東区には亀戸や門前仲町のような歴史のある場所もあれば新興の豊洲もあり、素敵な場所がいっぱいある。臨海部の夢の島マリナーは少し生活圏と離れており、また、PRも不十分のため知られてない。夢の島のマリナーは東京都の施設だが、入口にかなり広い緑のスペースがあり、何も活用されてなくて勿体ない。こどもの時からそういう場所を知ってもらい、小さいうちから区の素敵な場所を知ることによって江東区を好きになり、長く江東区に住んでもらえると良い。

【グループ 3】

- ・虐待児のアフターケア事業について充実してほしい。
- ・若者と社会が繋がり、支え手が増えていくような事業が広がっていくと良い。
- ・DXについて、区役所のWi-Fiが弱い。また、紙媒体が多く、PDF化を進めてほしい。
- ・防災について、江東区は高齢者や外国人居住者も多い。そういった中で避難所運営サポーターが募集されているが、今、現状としてどのくらい応募されているのか気になった。

【グループ 4】

- ・子育て支援について、助成金など親向けに制度があると思うが、中高生が恩恵を受けていると感じる機会がない。小学校までは学童など居場所があっても、中学生になった瞬間、公立でも学童のような制度がなく、学校が終わって家に帰ってから結構長い時間、家にひとりでいることが多くなる。
- ・高校生になってからは、勉強するスペースが欲しいと感じるようになった。図書館に勉強スペースがあっても席の数が少ないので一日中使っているのは申し訳なく、集中して勉強できるスペースがない。図書館でなくても、公共施設の部屋に机と椅子だけ置いて勉強できるスペースが欲しい。また、図書館は食事をしたり一日中いることができない。食堂が同じ建物にあると嬉しい。

- ・防災について、自治会の方から 2019 年の台風の時の経験について話があった。避難所を自治会が運営するにあたり、江東区の職員が鍵を開けなければならないが、職員が近くに住んでいるとは限らず、実際に鍵が開けられない状況があった。区の職員はできれば江東区在住の方を優先に採用し、防災について教育をしていただけると良い。
- ・今回 10 代の方が参加されたが、こういう場はどうしても年齢層が高くなりがちである。10 代の方が参加するからこそ、明るい未来のために色々な要望も聞ける。勉強する場所がないという話は聞いていたが、それを提案する場所や機会がなかった。
- ・自治会の問題はどこでもあるが、自治会が高齢者の集まりの場ではない。ママさんが参加しても良いし、10 代の方が参加しても良い。
- ・北砂の集合住宅では、大学生と一緒にゴミ拾いや防災訓練をやってもらったことがある。外国人の方が多いため、大学生に英語の通訳もしてもらった。若い方が率先して動いてくれ、若い方にとっても経験になる。ぜひ 10 代の方にもこういう意見交換の場を利用して、どんどん学校の友達にも「今日良かったよ」と、広めてもらいたい。今後も色々な地域と繋がりたい。

【オンライン参加者グループ】

- ・防災時のペットの同行避難について事前に情報が十分収集できない。事前準備をしたいと思うので、どうしたら良いのかももう少し情報を出してほしい。
- ・実際に災害が起きた時、障害のある方や高齢者の方は自宅避難になってしまうのではないかと心配である。
- ・気象災害が最近出ているが、関連して気候変動について地域、あるいは、江東区、東京都としてどうしていくべきか皆と考えていきたい。
- ・もっと江東区のことを知りたいので、交流できる場があると良い。交流はリアルだけではなくてオンラインやDXあるいはAIも使えるそう。その際、高齢者を始め、使えない方に対するフォローも大切である。
- ・人生の最期に向け、どのように最期を迎えたいかについて考えるような機会を地域で持てないか。
- ・「子育て」についての政策はあるが、公教育について地域あるいは周りがどういうふうに関わったらいいのかわからない、接点がないということが問題意識としてある。
- ・8つの政策の中に「分身ロボット」の話が出ていたが、実際見に行った方からその紹介があり、情報共有ができた。